

県外避難の子どもたちは、いま

東日本大震災からもうすぐ1年・・・

支援者として、教育者として、あるいは1人の大人として…
今、私たちにできることはなんなのでしょう？



関西に県外避難されている方々は3000人を超え、
その中には多くの子どもたちもいます。

地震や津波、放射能汚染というかつてない経験をし、
生まれ育った地域を離れ、不安や困りごとも少なくないと思われます。

県外避難をされた方の声を聴き、それをきっかけに一緒に考えていきませんか？



ひにち：2012年2月18日（土）

じかん：13：30～17：00（受付：13：00～）

会 場：新大阪丸ビル別館4-3号室

※参加費無料・託児スペースあり

【主 催】 関西スクールソーシャルワーク研究会
NPO法人 み・らいず

【共 催】 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

シンポジウム 【県外避難のこどもたちは、いま】



第一部：基調講演 「関西で県外避難の子どもに会うということ」

金澤ますみ 氏（大阪人間科学大学 助教 / 大阪府スクールソーシャルワーカー）
【プロフィール】

花園大学卒業後、奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了、博士（学術）。
2005年より大阪府教育委員会の学校ソーシャルワーカーとして、虐待被害などの問題を
抱えた子どもの相談を受け学校と行政機関をつなぐ。



第二部：避難者報告 「子どもとおやの想い」

第三部：パネルディスカッション 「県外避難のこどもたちにできること」

パネラー 木村佳恵（阪神淡路大震災経験者 / 伊丹市・吹田市スクールソーシャルワーカー）
浜田真樹（大坂弁護士会 / 弁護士）
中島義彦（堺市立赤坂台小学校 校長）
山中徹二（NPO 法人み・らいず）

コーディネーター 半羽利美佳（関西スクールソーシャルワーク研究会 代表）



- 日 時：2012年2月18日（土） 13：30～17：00（受付：13：00～）
- 会 場：新大阪丸ビル別館 4-3号室（大阪市東淀川区東中島1丁目18番22号）
- 対 象：子どもに関わるお仕事をされている方や教育・福祉関係者、また県外避難されている方もご参加いただけます。
- 申 込：FAX、もしくはメールでお申込みください。 【会場アクセス】
※参加費無料・託児スペースもございます。
- 主 催：関西スクールソーシャルワーク研究会
NPO 法人 み・らいず
- 共 催：公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

○ お申込み・お問い合わせ先 ○

【NPO 法人 み・らいず】

住 所：559-0015 大阪市住之江区南加賀屋 4-4-19
T E L：06-6685-6699 F A X：06-6683-5532
メール：anshin@me-rise.com



JR新大阪駅【東口】出口より 徒歩2分

- お申込み
- ★下記の申込欄に必要事項をご明記ください
- ★申込 FAX：06-6683-5532 【NPO 法人み・らいず】

お名前	
住 所	〒
ご連絡先	
職業・所属	
託児希望	無 ・ 有（ 名様 ・ 歳）